

令和3年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心を育む教育の推進

<h4>1 一人一人の児童生徒の尊重</h4> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。</p>	<h4>2 友達への思いやり</h4> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p>	<h4>3 道徳・心の教育の充実</h4> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)</p>
--	---	--

【学校から】本校は、心がやけ月間に「親子道徳の日」を設定し、道徳科の学習内容を家庭に紹介し、親子で感想を伝え合う取り組みを続けている。コロナ禍のため、保護者に学習活動の様子を伝える機会(授業参観や懇談会等)が少ないので、学校便りや各学年の通信等で心の教育の充実・成果を発信してきた。約9割の保護者が肯定的評価であった。また、「思いやり」について自己評価が高い児童が9割以上いる。今後も一人一人を大切にしたい教育の充実に図り、学校と家庭との双方の理解が高まるよう努力する必要がある。

②確かな学力を育む教育の推進

<h4>4 意欲的な学習態度</h4> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>	<h4>5 授業力向上</h4> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<h4>6 ICT活用</h4> <p>子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。</p>
---	--	--

【学校から】授業でタブレット端末を活用している場面が日常的になり、教師は「わかる授業・楽しい授業」になるよう工夫をしている。家庭学習においても児童はタブレット端末を活用し課題に取り組んでいる。新しい学習スタイルへの転換で児童の意欲も向上し、そのことが本年度の学力テストの結果にも表れていた。次年度は、授業参観や懇談会等で授業の様子や学習の成果を伝え、さらに学力が向上するように学校と家庭が連携していく必要がある。また、一人一人の実態に応じた指導の充実を図っていく。

③健やかな体を育む教育の推進

<h4>7 健康づくり</h4> <p>子どもは、好き嫌いをなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。</p>	<h4>8 児童生徒理解</h4> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていると思いますか。</p>	<h4>9 いじめや問題への対応</h4> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p>
--	--	--

【学校から】保護者や児童の8割が肯定的評価である。教職員は給食や外遊びの様子から、肯定的評価は7割弱である。好き嫌いや睡眠時間の改善等、家庭と連携した健康教育を推進する必要がある。

【学校から】本校は、いじめや問題の早期発見・早期解決のために毎月「きずなアンケート」を実施したり、特設の「教育相談日」を設定したりしている。児童理解や問題への対応において、保護者や児童と教職員との意識に差があることを受け止め、さらに児童との対話を重視し保護者への説明を丁寧に行いながら、一人一人を大切にしたい教育の推進を図っていく。

⑤特別支援教育の推進

<h4>10 学校の支援体制</h4> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p>	<h4>11 共生社会を担う人材の育成</h4> <p>「交流及び共同学習」等の実施は、相互理解の促進につながっていると思いますか。</p>
--	--

【学校から】「交流学級及び共同学習」等の実施が相互理解につながっているという肯定的評価は9割であった。交流学習の実施は、児童にとって日常の学校生活になっており、将来、共生社会を担っていく上で大切な資質が育まれている。これからも、家庭との共通理解を図りながら特別支援教育を推進していく。

⑥子どもたちの身近な安全対策の充実

<h4>12 安全と事故防止</h4> <p>学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。</p>	<h4>⑦最適な学習環境の整備</h4> <h4>13 施設・設備の安全管理</h4> <p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p>
---	---

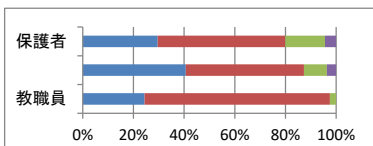
【学校から】それぞれ9割が肯定的評価である。児童の登下校の安全面においては、家庭や地域と連携しながら指導していく必要がある。

【学校から】それぞれ8割以上が肯定的評価である。毎月、全職員による安全点検を行っている。必要がある箇所については早急に対応している。

⑧家庭・地域社会との連携強化

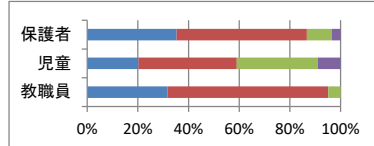
14 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。



15 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

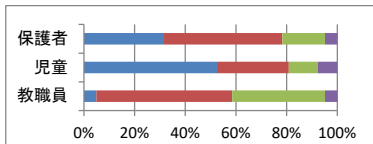


【学校から】「家庭や地域との連携・協力」について、児童へは「自分が地域と関わりのある活動をしているか」という内容でアンケートを行った。コロナ禍で、例年行われているPTAや地域の行事が中止になっていることが影響している。今後も、学校の教育目標を保護者や地域に示し、連携・協働できるよう努力していく。

⑨本校の教育

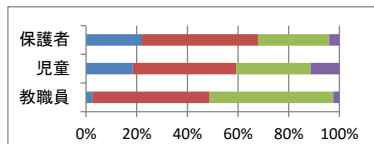
16 1自分やまわりの人を大切に子ども【あいさつ】

子どもは、進んであいさつができていますか。



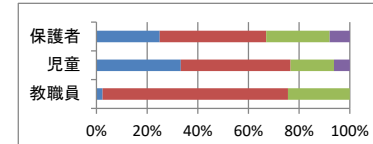
17 2自分やまわりの人を大切に子ども【丁寧な言葉づかい】

子どもは、丁寧な言葉づかいをしていますか。



18 3進んで学ぶ子ども

子どもは、進んで学習等をしていると思いますか。



【学校から】「あいさつ」に関して、保護者や児童の約8割は肯定的評価であるが、教職員は約6割と低い。学校では、児童が挨拶する場も多く、指導する機会が多いことが考えられる。「丁寧な言葉づかい」に関する肯定的評価は、児童は6割、教職員は5割である。「進んで学ぶ」に関しては、約8割が肯定的評価である。豊かな心をもち自分や周りの人を大切にすることの児童の育成に向けて、今後も家庭と連携して教育活動を推進していく。

来年度の具体的な取り組みについて

- どんな困難に出遭っても、自分や周りの人と協力しながら何とかしようとするたくましい心や自分や周りの人を大切にすることをもちった子どもの育成を目指し、「挨拶」「言葉づかい」「感謝の気持ち」「進んでよい行動」をキーワードに、本校の教育を推進していく。そのために、保護者と地域の人々と連携・協働していく。
- さらなる学力向上を目指して、ICTを活用した学習活動の展開、授業改善に取り組みながら、一人一人の実態に応じた指導をしていく。
- 児童がよりよい人間関係を築くことができるように、言葉の力・伝え合う力を育てていく。
- 令和2年度、3年度は、授業参観や懇談会、学習発表会の中止で、児童の学習活動を保護者に参観してもらう機会がほとんどなかった。保護者にとっては、学校の様子がわかりにくく、そのことがアンケート結果に表れていた。また、1学期の家庭訪問は中止となり、担任と保護者が十分に話し合う機会も少なかった。次年度は、学校と家庭が共通理解を図り連携・協働していくために、児童や学級の様子を保護者に伝える場や機会を確保していく。
- 地域と連携した学習活動の工夫を行い、児童が多様な人々とふれあう体験の機会を増やしていく。そういった取り組みを通して、地域にも学校の教育方針について理解してもらい、地域と連携した教育を推進していく。

学校関係者評価

学校関係者の方々から以下のようなご意見があった

- コロナ禍の影響もあり、学校の授業や児童の様子が見られないのが残念である。しかし、地域学習での子ども達の作品を通して交流でき、うれしく思っている。一生懸命に学習していることが伝わってきた。また、素直な心、明るい心も感じられた。
- 登下校中の児童の様子を見ると、挨拶をする児童が減ったようだ。マスクの影響もあるのかもしれない。児童にとってお世話になっている見守り活動をしている方々への挨拶はしてほしいと思う。
- 長嶺小の子ども達は、ていねいな言葉を使う。
- 地域のイベント(子ども会等)で、主体的に計画したり手伝ったりする子どもがいて頼もしく感じた。
- 登下校中の交通安全については、歩行の仕方、横断歩道の渡り方等、繰り返し指導してほしい。

今後も、細やかに情報の発信に努め、学校関係者からの貴重なご意見・ご助言をもとに地域と連携・協働した教育活動を推進していく。